

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.12

令和6年7月9日(火)

文責：校長 園田栄作

命について考え、心を見つめました！

～ 度島っ子の心を見つめる教育週間 6月24日(月)～28日(金)～

「度島っ子の心を見つめる教育週間」を設定し、命について考えたり、自分の心を見つめたりしました。教育週間としての設定は、6月24日(月)～28日(金)でしたが、この前後の期間においても命や心について学ぶことができました。

いろんな角度からアプローチできたことで、自分の命をはじめ、友達や家族のことについても考えを深める機会となりました。

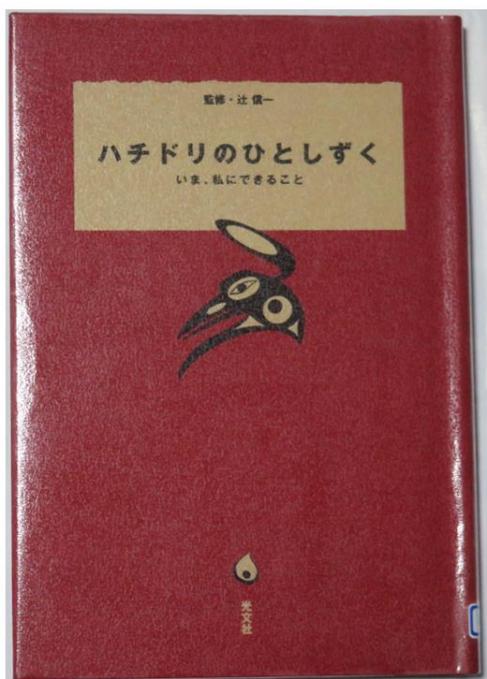
Life(いのち)

やさしく かしく たくましく



■命や心について考え、学びを深めた学習

- ・ 20日(木) AED講習会
- ・ 21日(金)、7月2日(火) 水泳学習
- ・ 24日(月) 全校朝会(校長講話)
- ・ 26日(木) 授業参観・懇談会
坂本真南看護師による講演会



24日(月)に、心を見つめる教育週間に向けて校長講話を行いました。その中で、「ハチドリのはたとしずく」という本を紹介し、話をしました。

《概要》

クリキンディという名前のハチドリが出てきます。ある日、クリキンディ達が住む森が火事になります。森の生き物たちは、我先にと逃げていきますが、クリキンディは、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運び、消そうとします。動物たちが「そんなことして一体何になるんだ」と言って笑います。クリキンディは、「私は、私にできることをしているだけ」と答えました。

※ハチドリは10cmほどの小さな鳥です。

「命や心について考え、自分にはどんなことができるか考える週間にしましょう」と話しました。

命の大切さを学んだ学習

『AED 講習会』



小学5・6年生、中学1～3年生が、「AED 講習会」を受講しました。平戸市消防署の〇〇さん、〇〇さんに御指導をいただいてAEDの適切な使い方を学びました。特に、AEDを使うまでの素早い動きの重要性を教えてくださいました。「119番に電話をかけてもらう」「AEDを持ってきてもらう」など、救助は自分一人で行うのではなく、協力者を募ることの大切さを学びました。

『水泳学習』



「シーライフ平戸」において、小学生全員が水泳学習を行いました。2回にわたり、泳ぎの能力に合わせてそれぞれ目標を決め、チャレンジしました。職員6名に加え、水泳指導員の〇〇さん、〇〇さんにもご指導いただき泳ぎ方のコツを学ぶことができました。水を怖がる子もいず、楽しみながら学ぶことができました。素直に一生懸命取り組むので、あっという間に上達しました。

『講演会』



度島診療所の〇〇〇〇看護師を講師に招いて、講演会を行いました。〇〇さんは、カンボジアで医療に従事された経験があられます。日本とは生活も文化も歴史も違う中で、命に携わる仕事を通して感じたことを話してくださいました。生徒たちは、どこの国であっても、命はかけがえないものだと感じたようでした。多くの保護者の方にも参観していただきありがとうございました。

7月、11月は「ココロねっこ運動強調月間」です！

ココロねっこ運動は、「子どもたちの心の根っこを育てるため、大人が変わろう、行動しよう」という県民総ぐるみの子育て支援を推進する長崎県独自の県民運動です。子どもをネットトラブルから守るための取組（メディア利用は夜9時まで。フィルタリングの利用。）や家庭の日（第3日曜日）の過ごし方など掲げてあります。どの活動においても、一方的にルールを決めるのではなく、子どもと共に考えて家庭のルールを決めることが大事であるとされています。先日「心を見つめる教育週間」がありました。重ねて、家庭でもメディアのルール作りなど確認していただきますようお願いいたします。